
マサユメ

エビのしっぽ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マサユメ

【Zマーク】

Z9215A

【作者名】

Higeのじつぽ

【あらすじ】

悪夢をみてしまった。もしこれが正夢ならば行かなければ……あの場所へ…。

(前書き)

初投稿なので、うまくできたかとても不安です。読んでいただけたらうれしいです。

…」
「…」

俺は今、薄暗い闇の中にはいる。

床はコンクリートらしく、固く、無機質な感じがする。

…どこかの鉄工所か何かだろうか。周りは見えないが、とても広いことが肌でわかる。この場所は、何かおかしい。
異質な空気、胸を圧迫するような不快感。
そして何より鼻をつくこの異臭だ。魚かなにかの死骸の、さらには強烈になつた感じだ。

…目が慣れてきた。

ほんの数メートル先に、大きな塊らしき物が見える。
よく目を懲らす。

それは……

手足のない、人間の肉体だった。

感じたことの無い恐怖が体を貫く。

その時、後ろから視線を感じた。振り返ること

ができるない。首筋に息がかかった。

自分の悲鳴で目が

覚めた。

「…夢か…。」

これほど安心したのは初めてだつた。
…

「マジかよ！スゲー夢だな！」

智樹が馬鹿笑いした。

「おいおい、マジで死ぬかと思ったんだぜ。」

少しムツとして言った。「はは。悪い。おっと、これから行かなきやいけないところがあるんだ。またな。」

そう言つと、智樹は電話を切つた。

俺は

智樹とは中学からの仲だ。少しふざけ屋だが、根がいいヤツだから、今でも大親友だ。それにしても、本当にリアルな夢だった。ふと思い起こしてみる。……暗い部屋、不快感、そして……死臭。田の前に転がる手足のない人。

「……行かなきやならないところがあるんだ。」

背中に悪寒が走った。「まさか……まさかあの死体は……」

「……」

俺は家の近くの鉄工所の前に来ていた。直感でわかった。「ここだ……」

「……」

込み上げてくる恐怖を押しのけて、

恐る恐る足を踏み入れた。

……中は薄暗くて、以外に広かつた。所々に昔使われていたと思われる機械が置いてあるのが、からうじてわかった。

どの部屋だろう。声を殺して、音を立てないようにゆっくりと進む。

……智樹を捜さなくては……一番奥の部屋に入る。

……臭い……。

暗闇に目が慣れて、大分見えるようになつてきた。ふと田の前になにか置いてあつた。

人の首だった。

「ひつ！」

思わず悲鳴をあげて飛びのく。よくあたりを見渡すと、その部屋は、人の手や、足や、首がきちんと並べられていた。さつきから臭かつたのはこれのせいだったのだ。

「なんなんだよこいつは……」

……

恐怖で泣きそうになつってきた。

その時、突然頭部に衝撃が走る。田の前が真っ暗になる。

と、

俺は、うつぶせに倒れていた。体の自由がきかない。

「……」

……手足がない……俺の手足が……なんで……。同時にとてつもない痛みが、体を駆け巡った。

「うつ……うあああ……。」

視界に誰かが入る。「……智樹……なんで……。」智樹は口の端を歪めて不気味に笑った。

人を見ると俺の手で解体してやりたくなっちまうんだ。今のお前のようにわ……お前は今まで最高のコレクションだよ……。」智樹の不気味な笑い声の中で、俺の意識は徐々に薄れていった。あの時夢で見た死体は、智樹ではなく、この俺だったのだ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9215a/>

マサユメ

2010年10月17日02時34分発行